

児童思春期の摂食障害 基礎から臨床まで

Family Based Treatment

これまで思春期の神経性やせ症(AN)は、慢性化や死亡率の点で難治とされてきました。Family Based Treatment (FBT)はANに対してエビデンスが高い新しい治療法です。特に家族が介入の主体となって、スタッフはチームでそれを支えるところに特徴があります。本研修では、摂食障害の基礎知識とその鑑別、介入の原理原則、FBTの理論と実践について、具体的に学ぶことができ、ANにアプローチする際の指針となるでしょう。

会場参加

2021年1月9日(土) 10日(日) 10:00~16:30 (受付9:30~)
ピアザ淡海 207会議室 (滋賀県大津市におの浜1丁目1-20)

録画視聴

2021年1月30日(土) 10:00 ~3月31日(水) 20:00

児童思春期の摂食障害の基礎知識

1日目

- 【目的】 児童思春期の摂食障害に関する正しい理解と、それぞれの専門的立場からの適切な対応の仕方を学ぶこと、そして、早期発見早期介入の重要性、そして家族に積極的に関わってもらうことの大切さを理解すること
- 【対象】 養護教諭、スクールカウンセラーなど子どもを支援する立場にある専門家。摂食障害の専門知識や経験がそれほど多くない看護師、保健師、小児科医など臨床家

Family Based Treatmentの理論と実践

2日目

- 【目的】 FBTの理論的前提やスタンダードなアプローチを学び、実際の臨床場面でどのように実践できるかについてのイメージを持ってもらうこと
- 【対象】 児童思春期の摂食障害をある程度知っている(少なくとも数例の治療を経験している)臨床家。または1日目の研修を受けた者で、今後摂食障害治療に意欲があるもの。

講師



井口 敏之

星ヶ丘マタニティ病院 副院長

小児科専門医 臨床心理士

日本小児心身医学会 理事 認定医/指導医



鈴木 太

福井大学 子どものこころの発達研究センター 准教授

医学博士 精神保健指定医 日本精神神経学会専門医/指導医

日本摂食障害学会評議員、日本児童青年精神医学会代議員



荻原 かおり

東京インターナショナルサイコセラピー 二子玉川オフィス

臨床心理士 公認心理師

臨床心理士
ポイント
申請予定

子育て支援
無料託児&
参加費半額

会場にて
講師著書
販売予定

【参加費】 1日参加 15,000円 両日参加 28,000円 (各種割引あり)
【定員】 会場 40名 録画視聴 1,000名
(新型コロナウイルスの状況に応じて、オンラインに変更有)

【主催】 一般社団法人CBTを学ぶ会
【協賛】 CBTセンター
【後援】 滋賀医科大学小児科学講座, 滋賀医科大学精神医学講座

【問合せ】 研修会事務局 study@cbtcenter.jp

【詳細・申込】 <https://studygroup.cbtcenter.jp/fbt/2020fbt.php>

詳細はHP)



ホームページURL

